

令和7年度 自己評価表
(通所介護事業所)

評価日 令和8年3月

記入担当者 平松 五月

評価分類 できている A やや不十分 B 不十分 C

運営基準

事業計画	
事業計画の策定をしている。	A
事業計画の実施状況について評価を行っている。	A
重要事項説明書・契約書	
重要事項説明書を利用者またはその家族等に説明し、同意を得ている。	A
重要事項説明書を利用者またはその家族等交付している。	A
サービス開始に当たり、利用者と通所介護事業に関する契約を文書で取り交わしている。	A

サービスの質の確保

研修	
サービスの質の向上のために定期的な研修を実施している。	A
運営基準、業務内容、倫理に関する研修を実施している。	A
認知症の理解と実践に関する研修を実施している。	A
外部研修にも積極的に参加している。	B
サービス担当者会議	
必要に応じて、サービス担当者会議に参加している。 (実施されない場合は、文書による情報交換を行なっている。)	A
通所介護計画	
居宅サービス計画に基づいて通所介護計画が立てられている。	A
利用者が望む状態を目標においた通所介護計画を作成している。	A
通所介護計画書を利用者又は家族等に説明した上で、同意を得て交付している。	A
記録	
サービス提供記録、相談に関する記録や健康状態の記録を行っている。	A

安心・安全なサービス提供

送迎	
送迎のための手段を確保している。	A
事前に利用者の状況や住宅環境、道路事情を把握し必要な人員を配置している。	A
施設までの送迎が安全に行われるような介助を行っている。	A
入浴	
入浴前には、健康状態のチェックを行っている。	A
利用者の心身状態に合わせて、部分浴、清拭等の入浴方法にも配慮している。	A
浴室・脱衣所の換気や保温に配慮している。	A
プライバシーに配慮している。	A
入浴後の水分補給を行っている。	A
排泄	
声掛け誘導を行い、可能な限りトイレでの排泄を促している。	A
ナースコールには速やかに対応している。	A
トイレは手すり設置等、事故防止への工夫をしている。	A
活動	
利用者が楽しく参加できるよう、趣味・娯楽などを活かすなど、利用者の意向に配慮して実施している。	A
季節を感じることができる行事や創作活動を行っている。	A
認知症の理解	
利用者一人ひとりの日常生活能力や機能、生活歴について適切にアセスメントを行っている。	A
問題行動等がある場合には、観察や記録によって理解することに努めている。	A
職員に対して、認知症についての研修を実施している。	A

適切なサービスの運営

自立支援	
利用者の維持能力や主体的活動を重視し、自立支援につながるサービスの手法を取り入れている。	A
自立支援につながるよう、利用者の状態に応じて車いす等の自助具を活用するよう配慮している。	A
家族との連携・情報提供	
利用者の状態の変化時があった時に状況を報告している。	A

提供したサービスの内容、利用者の心身状況等について、これらを記載した帳票を利用者に交付している。	A
利用者、家族等からの相談に対して内容をしっかりと傾聴し助言を行っている。	A
居宅連携	
体調の変化等、利用者の心身の状態に配慮すべきことが生じた場合には、担当のケアマネジャーを通じて主治医や訪問看護師等の他職種へ相談する等してつなげている。	A
ケアプランの変更が必要になった場合には、速やかに、担当のケアマネジャーに相談することとしている。	A
苦情	
苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。	A
意見箱の設置等、匿名の苦情に対応できる体制をとっている。	A
苦情内容については、受付と解決を図った記録を保管している。	A
苦情への対応の内容、結果を必要に応じて担当のケアマネジャーへ報告している。	A
市町村等の苦情相談窓口の連絡先は、利用者や家族に周知している。	A
事故発生時の対応	
ヒヤリハットについて報告、記録するよう職員に徹底している。	A
事故発生時には報告書を作成している。	A
職員からの報告、記録に対して、問題の性質や対応方法を整理、分析し、事故防止に向けた改善を図っている。	A
マニュアルを作成し、職員に周知している。	A
利用者の緊急時の連絡先、主治医を把握している。	A
事故の内容及び対処した内容は、必要に応じて、担当のケアマネジャー及び市町村等に速やかに報告している。	A
衛生管理	
感染症等を防ぐため、衛生管理マニュアルを整備し、職員に周知している。	A
職員の服装については、業務に適した清潔なもので、衛生面にも配慮している。	A
感染予防のため、換気、室温等の環境整備に配慮している。	A
毎日の清掃や消毒を記録している。	A
非常時・防災	
非常時の対応マニュアル、BCPを整備している。	A
利用者の心身の状態等に応じた避難、誘導、搬送の体制を確保し、定期的に避難訓練を行っている。	B

利用者本位

コミュニケーション	
マナー、挨拶、言葉使い等についての接遇研修を行っている。	A
利用者の気持ちを聞くようにしており、その際にはプライバシーに配慮している。	A
利用者の希望を聞き出すようにしている。	A
信頼関係を作るようにしている。	A
定期的に自己点検を行っている。	A
個人情報保護	
プライバシーポリシー・個人情報保護規程を作成している。	A
個人情報取り扱いについて利用者又は家族等に説明した上で、同意を得て交付している。	A
個人情報の保護について、職員研修を実施している。	A
病院や買い物の途中等、利用者以外の人が多い場で、利用者の個人情報と思えるような話をしないこととしている。	A
身体拘束	
原則として身体拘束その他利用者の行動を制限する行為は行わないことを職員に徹底している。	A
原則として身体拘束その他利用者の行動を制限する行為は行わないことを運営規程、重要事項説明書、契約書に盛り込み、利用者又はその家族等に説明している。	A
職員に対して、身体拘束についての研修を実施している。	A

関連機関との連携に関する項目

地域連携	
利用者が事業所を選択できるよう、地域の関係機関に対して、事業所のサービス内容、営業時間などの情報提供を行っている。	A
厚生労働省が提供しているネットワークシステム「情報の公表システム」に事業所情報を公表している。	A
利用者や家族等に困難な状況が生じていることを発見した場合には、関係機関と連携できる体制がある。	A
実習生	
実習生の受け入れを行っている。	A
実習担当者の選任や実習生の受け入れマニュアルを用意している。	B
実習生を受け入れるにあたり、利用者にあらかじめ了解を得ている。	A